



ASA のライセンス管理

シスコ スマート ソフトウェア ライセンシングによって、ライセンスを購入し、ライセンスのプールを一元管理することができます。各ユニットのライセンス キーを管理する必要なく、デバイスを簡単に導入または削除できます。スマート ソフトウェア ライセンスを利用すれば、ライセンスの使用状況と要件をひと目で確認することもできます。



(注)

このセクションは、Firepower 4100/9300 シャーシ上の ASA 論理デバイスにのみ該当します。Firepower Threat Defense 論理デバイスのライセンスの詳細については、『Firepower Management Center Configuration Guide』を参照してください。

- [スマートソフトウェアライセンスについて, 1 ページ](#)
- [スマートソフトウェアライセンスの前提条件, 5 ページ](#)
- [スマートソフトウェアライセンスのガイドライン, 6 ページ](#)
- [スマートソフトウェアライセンスのデフォルト, 6 ページ](#)
- [通常のスマートソフトウェアライセンシングの設定, 6 ページ](#)
- [Firepower 4100/9300 シャーシのスマートライセンス サテライト サーバの設定, 9 ページ](#)
- [パーマネントライセンス予約の設定, 11 ページ](#)
- [スマートソフトウェアライセンシングのモニタリング, 13 ページ](#)
- [スマートソフトウェアライセンスの履歴, 14 ページ](#)

スマート ソフトウェア ライセンスについて

ここでは、Smart Software Licensing の機能について説明します。



(注) このセクションは、Firepower 4100/9300 シャーシ上の ASA 論理デバイスにのみ該当します。Firepower Threat Defense 論理デバイスのライセンスの詳細については、『Firepower Management Center Configuration Guide』を参照してください。

ASA のスマート ソフトウェア ライセンシング

Firepower 4100/9300 シャーシ上の ASA アプリケーションの場合、スマート ソフトウェア ライセンス設定は Firepower 4100/9300 シャーシスーパーバイザとアプリケーションの間で分割されます。

- Firepower 4100/9300 シャーシ：ライセンス認証局との通信を行うためのパラメータを含めて、スーパーバイザにすべてのスマート ソフトウェア ライセンス インフラストラクチャを設定します。Firepower 4100/9300 シャーシ 自体には動作のためのライセンスは必要ありません。



(注) シャーシ間クラスタリングでは、クラスタ内の各シャーシで同じスマート ライセンス方式を有効にする必要があります。

- ASA アプリケーション：アプリケーションのすべてのライセンス資格を設定します。

Smart Software Manager とアカウント

デバイスの1つ以上のライセンスを購入する場合は、Cisco Smart Software Manager で管理します。

<https://software.cisco.com/#module/SmartLicensing>

Smart Software Manager では、組織のマスター アカウントを作成できます。



(注) まだアカウントをお持ちでない場合は、このリンクをクリックして**新しいアカウントをセットアップ**してください。Smart Software Manager では、組織のマスター アカウントを作成できます。

デフォルトでは、ライセンスはマスターアカウントの下でのデフォルトの仮想アカウントに割り当てられます。アカウントの管理者として、オプションで追加の仮想アカウントを作成できます。たとえば、地域、部門、または子会社ごとにアカウントを作成できます。複数の仮想アカウントを使用することで、多数のライセンスおよびデバイスの管理をより簡単に行うことができます。

オフラインでの管理

デバイスにインターネットアクセスがなく、ライセンス認証局に登録できない場合は、オフラインライセンスを設定できます。

パーマネント ライセンスの予約

デバイスがセキュリティ上の理由でインターネットにアクセスできない場合、オプションで、各 ASA の永続ライセンスを要求できます。永続ライセンスでは、ライセンス認証局への定期的なアクセスは必要ありません。PAK ライセンスの場合と同様にライセンスを購入し、ASA のライセンス キーをインストールします。PAK ライセンスとは異なり、ライセンスの取得と管理には Smart Software Manager を使用します。通常のス마트 ライセンス モードと永続ライセンスの予約モードの間で簡単に切り替えることができます。

すべての機能、すなわちモデルの正しい最大スループットを備えた標準ティアおよびキャリア ライセンスを有効にするライセンスを取得できます。ライセンスは Firepower 4100/9300 シャーシ上で管理されますが、それに加えて ASA 設定で権限付与を要求することにより、ASA でそれらを使用できるようにする必要があります。

サテライト サーバ

デバイスがセキュリティ上の理由でインターネットにアクセスができない場合、オプションで、仮想マシン (VM) としてローカル Smart Software Manager サテライト サーバをインストールできます。サテライトは Smart Software Manager 機能のサブセットを提供し、これによりすべてのローカルデバイスに重要なライセンスサービスが提供可能になります。サテライトが定期的にライセンス認証局に接続するだけで、ライセンスの使用状況を同期できます。スケジュールに沿って同期するか、または手動で同期できます。

サテライト アプリケーションをダウンロードして導入したら、インターネットを使用して Cisco SSM にデータを送信しなくても、以下の機能を実行できます。

- ライセンスの有効化または登録
- 企業ライセンスの表示
- 会社のエンティティ間でのライセンス移動

詳細については、[スマートアカウントマネージャ サテライト](#)にある『Smart Software Manager satellite installation and configuration guide』を参照してください。

仮想アカウントごとに管理されるライセンスとデバイス

ライセンスとデバイスは仮想アカウントごとに管理されます。つまり、その仮想アカウントのデバイスのみが、そのアカウントに割り当てられたライセンスを使用できます。追加のライセンスが必要な場合は、別の仮想アカウントから未使用のライセンスを転用できます。また、仮想アカウント間でのデバイスの譲渡も可能です。

Firepower 4100/9300 シャーシのみがデバイスとして登録され、シャーシ内の ASA アプリケーションはそれぞれ固有のライセンスを要求します。たとえば、3つのセキュリティ モジュールを搭載した Firepower 9300 シャーシでは、全シャーシが1つのデバイスとして登録されますが、各モジュールは合計3つのライセンスを別個に使用します。

評価ライセンス

Firepower 4100/9300 シャーシは、次の 2 種類の評価ライセンスをサポートしています。

- シャーシ レベル評価モード：ライセンス認証局に登録する前に、Firepower 4100/9300 シャーシが評価モードで 90 日間（合計使用期間）動作します。このモードでは、ASA は固有の権限付与を要求できません。デフォルトの権限のみが有効になります。この期間が終了すると、Firepower 4100/9300 シャーシはコンプライアンス違反の状態になります。
- 権限付与ベースの評価モード：Firepower 4100/9300 シャーシをライセンス認証局に登録した後、時間ベースの評価ライセンスを取得して ASA に割り当てることができます。ASA では、通常の方法で権限付与を要求します。時間ベースのライセンスの期限が切れると、時間ベースのライセンスを更新するか、または永続ライセンスを取得する必要があります。



(注) 高度暗号化 (3DES/AES) の評価ライセンスを取得することはできません。永続ライセンスのみでこの権限がサポートされます。

Smart Software Manager 通信

このセクションでは、デバイスが Smart Software Manager と通信する方法について説明します。

デバイス登録とトークン

各仮想アカウントに対し、登録トークンを作成できます。このトークンは、デフォルトで 30 日間有効です。各シャーシを導入するとき、または既存のシャーシを登録するときはこのトークン ID と権限付与レベルを入力します。既存のトークンの有効期限が切れている場合は、新しいトークンを作成できます。

導入後の起動時、または既存のシャーシでこれらのパラメータを手動で設定した後に、シャーシがシスコのライセンス認証局に登録されます。シャーシがトークンで登録される時、ライセンス認証局はシャーシとそのライセンス認証局との間で通信を行うために ID 証明書を発行します。この証明書の有効期間は 1 年ですが、6 か月ごとに更新されます。

ライセンス認証局との定期通信

デバイスはライセンス認証局と 30 日おきに通信します。Smart Software Manager に変更を加えた場合は、デバイス上で許可を更新し、すぐに変更されるようにすることができます。または、スケジュールどおりにデバイスが通信するのを待ちます。

任意で HTTP プロキシを設定できます。

Firepower 4100/9300 シャーシでは、少なくとも 90 日おきに、直接接続または HTTP プロキシを介したインターネット アクセスが必要です。通常のライセンスに関する通信は 30 日ごとに行われ

ますが、これには猶予期間があり、デバイスはホームをコールすることなく最大で90日間は動作します。猶予期間後、ライセンス認証局と通信する必要があります。そうしない場合、特別なライセンスを必要とする機能の設定変更を行なえなくなります。操作はそれ以外は影響を受けません。

コンプライアンス逸脱状態

次の状況では、デバイスがコンプライアンスから逸脱している可能性があります。

- 使用超過：デバイスが利用できないライセンスを使用している場合。
- ライセンスの有効期限切れ：時間ベースのライセンスの有効期限が切れている場合。
- 通信の欠落：デバイスが再許可を得るために Licensing Authority に到達できない場合。

アカウントのステータスがコンプライアンス違反状態なのか、違反状態に近づいているのかを確認するには、Firepower 4100/9300 シャーシで現在使用中の権限付与とスマートアカウントのものを比較する必要があります。

コンプライアンス違反（逸脱状態）の場合、特別なライセンスが必要な機能への設定変更はできなくなりますが、その他の動作には影響ありません。たとえば、標準のライセンス制限を超える既存のコンテキストは実行を継続でき、その構成を変更することもできますが、新しいコンテキストを追加することはできません。

Smart Call Home インフラストラクチャ

デフォルトで、Smart Call Home のプロファイルは、ライセンス認証局の URL を指定する FXOS 設定内にあります。このプロファイルは削除できません。ライセンスプロファイルの設定可能なオプションは、ライセンス機関の宛先アドレス URL のみであることに注意してください。Cisco TAC からの指示がない限り、ライセンス認証局の URL を変更しないでください。

スマートソフトウェアライセンスの前提条件

- この章は、Firepower 4100/9300 シャーシ上の ASA 論理デバイスにのみ該当します。Firepower Threat Defense 論理デバイスのライセンスの詳細については、『Firepower Management Center Configuration Guide』を参照してください。
- Cisco Smart Software Manager でマスターアカウントを作成します。
<https://software.cisco.com/#module/SmartLicensing>
まだアカウントをお持ちでない場合は、このリンクをクリックして[新しいアカウントをセットアップ](#)してください。Smart Software Manager では、組織のマスターアカウントを作成できます。
- [Cisco Commerce Workspace](#) から1つ以上のライセンスを購入します。ホームページの [製品とソリューションを検索 (Find Products and Solutions)] フィールドで、該当するプラット

フォームを検索します。一部のライセンスは無料ですが、その場合でもスマートソフトウェアライセンスアカウントにそれらを追加する必要があります。

- シャーシがライセンス認証局と通信できるように、シャーシからのインターネットアクセスまたは HTTP プロキシアクセスを確保します。
- シャーシがライセンス認証局の名前を解決できるように、DNS サーバを設定します。
- シャーシの時刻を設定します。
- ASA ライセンス資格を設定する前に、Firepower 4100/9300 シャーシでスマートソフトウェアライセンスインフラストラクチャを設定します。

スマートソフトウェアライセンスのガイドライン

フェイルオーバークラスタリングのための ASA ガイドライン

各 Firepower 4100/9300 シャーシは、ライセンス認証局またはサテライトサーバに登録される必要があります。セカンダリユニットは追加料金なしで使用できます。永続ライセンスを予約するには、シャーシごとに別個のライセンスを購入する必要があります。

スマートソフトウェアライセンスのデフォルト

Firepower 4100/9300 シャーシのデフォルト設定には、ライセンス認証局の URL を指定する「SLProf」という Smart Call Home のプロファイルが含まれています。

```
scope monitoring
  scope callhome
    scope profile SLProf
      scope destination SLDest
        set address https://tools.cisco.com/its/service/oddce/services/DDCEService
```

通常のス마트ソフトウェアライセンスの設定

Cisco License Authority と通信するため、必要に応じて HTTP プロキシを設定できます。License Authority に登録するには、スマートソフトウェアライセンスアカウントから取得した Firepower 4100/9300 シャーシの登録トークン ID を入力する必要があります。

手順

-
- ステップ 1 [\(任意\) HTTP プロキシの設定, \(7 ページ\)](#)。
- ステップ 2 [Firepower セキュリティ アプライアンスの License Authority への登録, \(8 ページ\)](#)。
-

(任意) HTTP プロキシの設定

ネットワークでインターネットアクセスに HTTP プロキシを使用する場合、スマート ソフトウェア ライセンシング用のプロキシアドレスを設定する必要があります。このプロキシは、一般に Smart Call Home にも使用されます。



(注) 認証を使用する HTTP プロキシはサポートされません。

手順

ステップ 1 HTTP プロキシを有効にします。
scope monitoring scope callhome set http-proxy-server-enable on

例 :

```
scope monitoring
  scope call-home
    set http-proxy-server-enable on
```

ステップ 2 プロキシ URL を設定します。
set http-proxy-server-url URL
url はプロキシ サーバの http または https アドレスです。

例 :

```
set http-proxy-server-url https://10.1.1.1
```

ステップ 3 ポートを設定します。
set http-proxy-server-port ポート

例 :

```
set http-proxy-server-port 443
```

ステップ 4 バッファを確定します。
commit-buffer

(任意) Call Home URL の削除

以前に設定された Call Home URL を削除するには、次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1 モニタリング範囲を入力します。
scope monitoring
- ステップ 2 Call Home 範囲を入力します。
scope callhome
- ステップ 3 SLProfile を探します。
scope profile SLProfile
- ステップ 4 宛先を表示します。
show destination

例 :

```
SLDest https https://tools.cisco.com/its/oddce/services/DDCEService
```

- ステップ 5 URL を削除します。
delete destination SLDest
- ステップ 6 バッファを確定します。
commit-buffer
-

Firepower セキュリティ アプライアンスの License Authority への登録

Firepower 4100/9300 シャーシを登録すると、ライセンス認証局によって Firepower 4100/9300 シャーシとライセンス認証局との間の通信に使用される ID 証明書が発行されます。また、Firepower 4100/9300 シャーシが適切な仮想アカウントに割り当てられます。通常、この手順は 1 回限りのインスタンスです。ただし、通信の問題などが原因で ID 証明書の期限が切れた場合は、Firepower 4100/9300 シャーシの再登録が後で必要になる場合があります。

手順

-
- ステップ 1 Smart Software Manager または Smart Software Manager Satellite で、この Firepower 4100/9300 シャーシの追加先となるバーチャルアカウントの登録トークンを要求してコピーします。スマート ソフトウェア マネージャ サテライトを使用して登録トークンを要求する方法について詳しくは、『Cisco Smart Software Manager Satellite User Guide』（http://www.cisco.com/web/software/286285517/138897/Smart_Software_Manager_satellite_4.1.0_User_Guide.pdf）を参照してください。
- ステップ 2 Firepower 4100/9300 シャーシで登録トークンを入力します。
scope license register idtoken id-token

例 :

```
scope license
  register idtoken ZGFmNWM5NjgtYmNjYS00ZWl3L
WE3NGIttMWJkOGExZjIxNGQ0LTE0NjI2NDYx%0AMDIZNT
V8N3R0dXMlZ0NjWkdR214eFZhMldBOS9CVnNEYnVKM1
g3R3dvemRD%0AY29NQTO%3D%0A
```

ステップ 3 後でデバイスの登録を解除するには、次を入力します。
deregister

Firepower 4100/9300 シャーシの登録を解除すると、アカウントからデバイスが削除されます。さらに、デバイス上のすべてのライセンス資格と証明書が削除されます。登録を解除することで、ライセンスを新しい Firepower 4100/9300 シャーシに利用することもできます。または、Smart Software Manager からデバイスを削除することもできます。

ステップ 4 ID 証明書を更新し、すべてのセキュリティモジュールの資格を更新するには、次を入力します。
scope licdebug renew

デフォルトでは、ID 証明書は 6 ヶ月ごと、ライセンス資格は 30 日ごとに自動的に更新されます。インターネットアクセスの期間が限られている場合や、Smart Software Manager でライセンスを変更した場合などは、これらの登録を手動で更新することもできます。

Firepower 4100/9300 シャーシのスマート ライセンス サテライト サーバの設定

スマート ライセンス サテライト サーバを使用するように Firepower 4100/9300 シャーシを設定するには、次の手順に従います。

はじめる前に

- [スマート ソフトウェア ライセンスの前提条件](#)、(5 ページ) に記載のすべての前提条件を満たす必要があります。
- [スマート ライセンス サテライト OVA ファイル](#) を Cisco.com からダウンロードし、VMware ESXi サーバにインストールおよび設定します。詳細については、『[Smart Software Manager satellite Install Guide](#)』を参照してください。
- 証明書チェーンがまだない場合、次の手順を使用してそれを要求します。
 - キーリングを作成します ([キーリングの作成](#)) 。
 - そのキーリングの証明書要求を作成します ([基本オプション付きのキーリングの証明書要求の作成](#)) 。
 - キーリングの証明書チェーンを取得するために、この証明書要求をトラスト アンカーまたは認証局に送信します。

詳細については、[証明書](#)、[キーリング](#)、[トラストポイント](#)を参照してください。

手順

ステップ 1 callhome の接続先としてサテライト サーバをセットアップします。

scopemonitoring

scopecall-home

scopeprofileSLProfile

scopedestinationSLDest

setaddresshttps://ip_address/Transportgateway/services/DeviceRequestHandler

ステップ 2 新しいトラストポイントを作成します。

a) セキュリティ モードに入ります。

scopesecurity

b) トラストポイントを作成して名前を付けます。

createtrustpoint trustpoint_name

c) トラストポイントの証明書情報を指定します。証明書は、Base64 エンコード X.509 (CER) フォーマットでなければならないことに注意してください。

setcertchain certchain

certchain 変数には、この手順の前提条件として作成した証明書に含まれている証明書チェーン情報を使用します。

コマンドで証明書情報を指定しない場合、ルート認証局 (CA) への認証パスを定義するトラストポイントのリストまたは証明書を入力するように求められます。入力内容の次の行に、**ENDOFBUF** と入力して終了します。

d) 設定を確定します。

commit-buffer

例 :

```
firepower-chassis# scope security
firepower-chassis /security # create trustpoint tPoint10
firepower-chassis /security/trustpoint* # set certchain
Enter lines one at a time. Enter ENDOFBUF to finish. Press ^C to abort.
Trustpoint Certificate Chain:
> -----BEGIN CERTIFICATE-----
> MIIDMCCApmgAwIBAgIBADANBgkqhkiG9w0BAQQFADBOMQswCQYDVQQGEwJVUzEL
> BxMMU2FuIEpvc2UsIENBMRUwEwYDVQQKEwxFeGFtcGx1IEluYy4xezARBGNVBASt
> ClRlc3Qgr3JvdXAxGTAXBgNVBAMTEHRlc3QuZXhhbXBsZS5jb20xHzAdBgkqhkiG
> 9w0BCQEWElHVzZXJAZXhhbXBsZS5jb20wgZ8wDQYJKoZIhvcNAQEBBQADgY0AMIGJ
> AoGBAMZw4nTepNIDhVzb0j7Z2Je4xAG56zmSHRMQeOGHemdh66u2/XAoLx7YCcYU
> ZgAMivvyCsKgb/6CjQtsofvtrmC/eAehuK3/SINv7wd6Vv2pBt6ZpXgD4VBKOND1
> GMbkPayV1QjbG4MD2dx2+H8EH3LMtdZrgKvPxPTE+bf5wZVNAGMBAAGGJTAjBgkq
> hkiG9w0BCQcxFhMUQSBjaGFsbGVuZ2UgcGFzc3dvcmQwDQYJKoZIhvcNAQEFBQAD
> gYEAG61CaJoJavMhzC190306Mg51zq1zXcz75+VFj2I6rH9asckClD3mkOVx5gJU
> Ptt5CVQpNgNldvbDPSsXretysOhqHmp9+CLv8FDuy1CDYfuaLtv1WvfhevsKv0j6
> jtcEMyZ+f7+3yh421ido3n04MIGeBgNVHSMGgZywZQAFLLNjtcEMyZ+f7+3yh42
> 1ido3n04oXikdjb0MQswCQYDVQQGEwJVUzELMAkGA1UECBMCQ0ExFDASBgNVBAcT
> ClNhbnRhIENsYXJhMRswGQYDVQQKEwJ0dW92YSBTeXN0ZW1zIEluYy4xZDASBgNV
> BAsTC0VuZ21uZWVyaW5nMQ8wDQYDVQQDEwZ0ZXN0Q0GCAQAwdAYDVR0TBAUwAwEB
> /zANBgkqhkiG9w0BAQQFAAQBGAhWaRwXNR6B4g6Lsnr+fptHv+VWvB5fKqGQqXc
```

```
> wR4pYiO4z42/j9Ijenh75tCKMhW51az8copP1EBmOcyuhf5C6vasrenn1ddkkYt4
> PR0vxGc40whuiozBolesmsmjBbedUCwQgdFDWhDIZJwK5+N3x/kfa2EHU6idlavt
> 4YL5Jg==
> -----END CERTIFICATE-----
> ENDOFBUF
firepower-chassis /security/trustpoint* # commit-buffer
firepower-chassis /security/trustpoint #
```

- ステップ 3** Firepower 4100/9300 シャーシ をライセンス認証局に登録します ([Firepower セキュリティ アプリケーションの License Authority への登録](#), (8 ページ) を参照)。スマートライセンス マネージャ サテライトの登録トークンを要求し、コピーする必要があることに注意してください。

パーマネント ライセンス予約の設定

Firepower 4100/9300 シャーシにパーマネント ライセンスを割り当てることができます。このユニバーサル予約では、デバイスで無制限の数の使用権を使用できるようになります。



- (注) Smart Software Manager で使用できるように、開始前にパーマネント ライセンスを購入する必要があります。すべてのアカウントがパーマネント ライセンスの予約について承認されているわけではありません。設定を開始する前にこの機能についてシスコの承認があることを確認します。

パーマネント ライセンスのインストール

以下の手順は、Firepower 4100/9300 シャーシにパーマネント (永続) ライセンスを割り当てる方法を示しています。

手順

- ステップ 1** FXOS CLI から、ライセンスの予約を有効化します。
scope license
enable reservation
- ステップ 2** ライセンス予約を開始します。
scope license
scope reservation
- ステップ 3** 予約リクエスト コードを生成します。
request universal
show license resvcode

- ステップ 4** Cisco Smart Software Manager ポータルの Smart Software Manager インベントリ画面に移動して、[ライセンス (Licenses)]**Licenses** タブをクリックします。
<https://software.cisco.com/#SmartLicensing-Inventory>
 [ライセンス (Licenses)]**Licenses** タブにアカウントに関連するすべての既存のライセンスが、標準およびパーマネントの両方とも表示されます。
- ステップ 5** [ライセンス予約 (License Reservation)]**License Reservation** をクリックして、生成された予約リクエストコードをボックスに入力します。
- ステップ 6** [ライセンスの予約 (Reserve License)]**Reserve License** をクリックします。
 Smart Software Manager が承認コードを生成します。コードをダウンロードまたはクリップボードにコピーできます。この時点で、ライセンスは、Smart Software Manager に従って使用中です。
 [ライセンス予約 (**License Reservation**)] ボタンが表示されない場合、お使いのアカウントではパーマネントライセンスの予約が承認されていません。この場合、パーマネントライセンスの予約を無効にして標準のスマートライセンス コマンドを再入力する必要があります。
- ステップ 7** FXOS CLI で、承認コードを入力します。
license smart reservation install code
 これで Firepower 4100/9300 シャーシには PLR で完全にライセンスが適用されました。
- ステップ 8** ASA 論理デバイスで機能のライセンス資格を有効にします。ライセンス資格を有効にするには、[ASA ライセンス](#) の章を参照してください。

(任意) パーマネントライセンスの返却

パーマネントライセンスが不要になった場合、この手順で Smart Software Manager に正式に返却する必要があります。すべてのステップに従わないと、ライセンスが使用状態のままになり、別の場所で使用できません。

手順

- ステップ 1** FXOS CLI から、戻りコードを生成します。
license smart reservation return
 ただちに Firepower 4100/9300 シャーシのライセンスがなくなり、評価状態に移行します。
- ステップ 2** FXOS ユニバーサルデバイス識別子 (UDI) が表示されるので、Smart Software Manager の FXOS インスタンスを見つけます。
show license udi
- ステップ 3** Smart Software Manager インベントリ画面に移動して、[製品インスタンス (Product Instances)]**Product Instances** タブをクリックします。
<https://software.cisco.com/#SmartLicensing-Inventory>

- ステップ 4** ユニバーサル デバイス 識別子 (UDI) を使用して Firepower 4100/9300 シャーシを検索します。
- ステップ 5** [アクション (Actions)]**Actions**> [削除 (Remove)]**Remove**の順に選択して、生成された戻りコードをボックスに入力します。
- ステップ 6** [製品インスタンスの削除 (Remove Product Instance)]**Remove Product Instance**をクリックします。パーマネント ライセンスが使用可能なライセンスのプールに戻されます。
-

スマート ソフトウェア ライセンシングのモニタリング

ライセンスのステータスを表示するには、次のコマンドを参照してください。

- **show license all**

スマート ソフトウェア ライセンシングの状態、スマート エージェントのバージョン、UDI 情報、スマート エージェントの状態、グローバル コンプライアンス ステータス、権限付与ステータス、ライセンス証明書情報、およびスマート エージェント タスクのスケジュールを表示します。

- **show license status**

- **show license techsupport**

スマートソフトウェアライセンスの履歴

機能名 (Feature Name)	プラットフォームリリース	説明
Firepower 4100/9300 シャーシ向けシスコスマートソフトウェアライセンシング	1.1(1)	<p>スマートソフトウェアライセンスによって、ライセンスを購入し、ライセンスのプールを管理することができます。スマートライセンスは特定のシリアル番号に結び付けられていません。各ユニットのライセンスキーを管理する必要なく、デバイスを簡単に導入または削除できます。スマートソフトウェアライセンスを利用すれば、ライセンスの使用状況と要件をひと目で確認することもできます。スマートソフトウェアライセンスの設定は、Firepower 4100/9300 シャーシスーパーバイザとセキュリティモジュール間で分割されます。</p> <p>deregister、register idtoken、renew、scope callhome、scope destination、scope licdebug、scope license、scope monitoring、scope profile、set address、set http-proxy-server-enable on、set http-proxy-server-url、set http-proxy-server-port、show license all、show license status、show license techsupport コマンドが導入されました</p>